

オオバコ（車前草）



薬用部分は全草と根。オオバコ科

オオバコは日本全土でよく普通に見られる雑草の一つで多年草である。大葉子の意味で葉が大きくて広いことに由来している。漢名は車前草、当道、牛道などの名があるが、牛や馬の足跡や車の通る道のくぼみにはえやすいといふところから名がついたともいわれている。

話しつつおおばこの葉を
ふんでゆく

星野 立子

車前草の花のよこせや牧場口
鈴鹿野風呂

葉の間から伸びる花茎は、高さが10~15cmほどになり、たくさんのが白い花を密に咲かせる。花期は長く4月~10月にまで及ぶ。生命力を強く、人に踏まれようが、地面が硬からうがたくましく成長する。

葉用部位は種子、全草で種子

は秋、全草は夏に採集して天日乾燥する。種子は車前子といい、清心運氣、牛車腎氣丸等の漢方薬に配合されている。

高血圧
オオバコ全草一日20g、どくだみ20g、はぶ茶20gを配合し、煎服するといふ。

明目作用

車前子一日5~6gを煎服するとよく目が見えるようになるといふ。苦桔梗甘湯という漢方薬といっしょに服用するとなおよ。

せき
種子（車前子）4~10gを水500mlで煎じ一日3回に分けて服用する。平素カゼ引きやすく、カゼひくと咳と痰の症状だけが残つてなかなか治らない場合に服用すると効果がある。

膀胱炎

葉、種子5~8gに甘草1gを加え500mlで煎じ一日3回に分服する。利尿作用があり、水分の排泄を増加させるだけでなく、尿中の尿素、塩化ナトリウム、尿酸等の排泄もよくするといふ。

神経痛・リウマチ
オオバコ10g、じくだみ12g、ヨクイーン20gを煎服常用するといふ。

陰部のかゆみ・帶下

薬または実を煎じて飲む。竜胆煎肝湯という漢方薬は車前子が主要となつていて、

生の葉を塩でもんで、痛む歯の間にかみしめ、ときどきとりかえるといふ。

養正会薬局（鎌山）

おばあちゃんの知識

知つていますか?

お年寄りによつて、少量の酒が体によることは確かだといいます。寝る前に少量のブドウ酒を飲むようにしたら、よく眠れるようになります。不眠症が治つた人もあります。

お年寄りがかかる体の問題の中でも多いものとして、不眠の中にも使被があげられます。予防に小腹の酒が役立つのです。食事のときに酒を少量飲むと食事が増進し、食事量がふえてきます。

調理

薬酒づくりの基本

「子どもの病気シリーズ」

『夏に多い病気』

生後6ヶ月~4、5歳の乳幼児によくみられる夏カゼの一種で、ウイルス感染によるものです。

軽い発熱と手のひら、足のひら、耳、お尻に小さな水疱が現われ、口の中にも口内炎ができる。普通の場合は数日で治りそれほど心配はいりません。

【症状】
3~4日の潜伏期の後、手のひらや指の裏面、足のひらと、お尻、口の中に水疱がまばらに現れます。腫りが赤く緑色られた米粒大から小豆大の稍円形の水疱でかゆみや痛みはありません。この水疱は破れることなく2~3日たつと内容物が吸収されて小豆色から膚色の液点になり数日で消えます。口の中の水疱は、口唇の内側、頬の内側、舌などにできますが短時間で破れるので普通は赤く緑色された稍円形の潰瘍としてみられます。

【治療】
直接このウイルスに効く薬はありませんが、二次感染予防として抗生素を内服したり

口内炎がひどい時は紫色の外用液ビオクターニン液を塗ります。

【注意】
発疹が水疱の間は爪でひつ

かいて細菌などに感染しない

ように注意することが必要で

す。口内炎ができる時は

しみるので、食事の味を薄く

したり流動食にしたり、アリ

ンのようなのどこしのよいもの

を食べさせて痛みを軽減してやることが大切です。食事が十分にとれない時でも、水分

はたっぷり飲むようにします。

細菌が皮膚に感染して化膿をおこす病気で、その内容物が他の皮膚につくと自分はもちろん他人にもすぐ感染するので、とびひといいます。

【とびひ】
細菌が皮膚に感染して化膿をおこす病気で、その内容物が他の皮膚につくと自分はもちろん他人にもすぐ感染するので、とびひといいます。

【漢方と調剤】
健康に感謝
ヤマト薬局
江北店
☎86-2973
杵島郡江北町 ジャスコ前
処方せんは
どこかの処方せんでも受付ます。